

### 第 3 回日本医薬品等ウイルス安全性研究会シンポジウム

開催日: 2003 年 12 月 19 日(金)9:10-17:20

北里大学 北里生命科学研究棟 1F 薬学部コンベンションホール

会場: 東京都港区白金 5-9-1 バス路線: 渋谷一恵比寿一田町、北里研究所前(田 87 系統)、  
地下鉄: 日比谷線広尾駅、南北線/都営三田線白金高輪駅下車徒歩 10-15 分

#### プログラム

8:30	受付開始	
9:10	開会の挨拶、経過説明	小長谷昌功(代表幹事、感染研)
	会長挨拶	山内一也(東京大学名誉教授)
<b>セッション 1 受託製造、受託検査</b>		座長: 菅谷真二・布施 晃
9:30	受託バイオ製造の於けるウイルスバリデーション	岡村元義 (バシフィックバイオリジクス生産センター製造部)
10:00	バイオ医薬品等ウイルス安全性試験の受託	川俣 治(SRL)
10:30	再生医療におけるウイルス否定試験	石古博昭(三菱ビーシーエル)
11:00	追加発言: ウイルスバリデーション試験受託機関の必要性	小長谷昌功(感染研)
11:15	総合討論	座長: 布施 晃・菅谷真二
<b>昼食 (11:30-12:45)</b>		
<b>セッション 2 ウイルス検出法とリスク評価</b>		座長: 山口照英・岡田義明
12:45	ウイルス検出に関する NAT ガイドライン	山口照英(国立衛生研)
13:15	E 型肝炎の高感度検出法の開発とリスク評価	三代俊治(東芝病院部長)
13:45	遺伝子治療薬に混入する可能性のある増殖性ウイルスの迅速・高感度検出法の開発	内田恵理子(国立衛生研)
<b>セッション 3 臓器移植と安全性確保</b>		座長: 吉川泰弘・山内一也
14:15	異種移植と公衆衛生	山内一也(東京大名誉教授、本会会長)
14:45	異種移植研究の現状と実現のためのハードル	白倉良太(大阪大学)
<b>休憩 (15:15-15:30)</b>		
<b>セッション 4 感染症対策</b>		座長: 中山哲夫・倉根一郎
15:30	WHO を中心とした感染症の世界的危機管理体制	田代真人(感染研)
16:00	ウエストナイルウイルス感染症の現状と対策	高崎智彦(感染研)
<b>セッション 5 行政対策</b>		座長: 後藤紀久・西畑利明
16:30	薬事制度の改正と今後の GMP 体制について	山本 史(監視指導・麻薬対策課)
<b>総合討議 (17:00-17:20)</b>		座長: 山口照英・西畑利明
17:20	閉会の辞	

主催: 日本医薬品等ウイルス安全性研究会(会長: 山内一也)、世話人: 小長谷昌功、布施晃

協賛: 日本 PDA、北里大学

★シンポジウム参加費(当日受付): 会員 6000 円、非会員 9000 円(官学、NPO は 1000 円)

★研究会年会費: 3000 円(会員募集中)

★問い合わせ: 北里研究所メディカルセンター病院医療環境科学センター、鈴木達夫(事務局長)